

# 令和4年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

令和4年12月5日、6日

No.	氏名	項目・要旨
1	木下 徳康 (新政いいだ) 【 120 分 】	<p>1 市長の市政運営と予算編成方針に関して</p> <p>(1) 市長就任2年間の市政運営の総括と今後の進め方について</p> <p>① 新型コロナ感染防止と経済活動・地域活動の両立に向けた取り組みの評価と今後の対応は</p> <p>② 「対話と現場主義」の取り組みと成果は</p> <p>③ いいだ未来デザインの「目指すまちの姿」と市長公約の「日本一住みたいまち」との関連は</p> <p>(2) 令和5年度予算編成の基本方針は</p> <p>① 考え方、思いは</p> <p>② 人口ビジョンと「目指すまちの姿」の関係をどう捉えているか</p> <p>(3) 地域内経済循環の推進について</p> <p>① 地域内通貨の導入の検討状況は</p> <p>② 地域内経済循環の指標の取り方の検討は</p> <p>2 リニア中央新幹線に関連して</p> <p>(1) 駅周辺整備における移転交渉等の進捗状況は</p> <p>(2) 二次交通の検討の進捗状況はどうか</p> <p>(3) 都市・人口・交流の三重心の考え方とその実現に向けた誘導策は</p> <p>3 大学のあるまちづくりの推進に関して</p> <p>(1) 新学部誘致活動から始まった大学のあるまちづくりをするには</p> <p>4 地域DXと情報発信の推進への取り組みの方向性は</p> <p>(1) 「全庁的な『行政DX』の推進」とは</p> <p>(2) 「地域課題の解決のために活用するデジタル技術」とは</p> <p>(3) 「将来を見据えた基盤整備」とは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木下 徳康 (新政いいだ)	<p>5 定住・交流人口の拡大について</p> <p>(1) 市が目指すブランディング戦略の目玉は何か</p> <p>(2) サテライトオフィス等開設の状況は</p> <p>(3) ムトスぷらざの活用状況と今後は</p> <p>(4) 会派提言した「飯田市歴史研究所を美術博物館、中央図書館周辺に移転し、一帯を自然・歴史・文化の拠点と位置づけ、整備すること」の検討状況は</p> <p>6 歩いて周遊できるやま・さと・まちについて</p> <p>(1) ウォーキング推奨とコース設定の検討はどうか</p> <p>(2) 以前の産業建設委員会からの「道」と景観(ランドスケープ)に関する政策提案についての検討は</p> <p>7 検討されている大型インフラについて</p> <p>(1) 新文化会館建設の検討の経過と今後の展望は</p> <p>(2) 広域で検討されているアリーナ建設の検討状況は</p> <p>8 「健全財政の維持のために」について</p> <p>(1) 昨年立てた長期財政見通しの現時点での効果と今後についてはどうか</p> <p>9 「いいだ未来デザイン2028」基本目標達成に向けて</p> <p>(1) 市民との協働により達成することが必須となると考えるがどうか</p>
2	岡田 倫英 (会派きぼう) 【 120 分 】	<p>1 市長の市政運営と予算編成について</p> <p>(1) コロナ対策、物価高騰対策への対応が続く中での市政運営の進め方について</p> <p>① 財源確保を含め令和5年度予算編成の考え方は</p> <p>② コロナ禍に見舞われて3年経つが、感染拡大防止対策の進め方は</p> <p>③ 佐藤市政の前半2年間で総括する上で、後半2年間で力を入れる政策は</p> <p>(2) 環境文化都市の再構築を進めるにあたり、特にエネルギー政策の道筋は</p> <p>2 リニア、三遠南信時代に向けたまちづくりについて</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 田 倫 英 (会派きぼう)	<p>(1) リニア駅周辺整備及び交流重心内のまちづくりについて</p> <p>① 駅周辺整備にかかる土木実施設計が示されるなど事業が本格化する中、市民の関心をどう認識しているか</p> <p>② 乗換新駅をつくらない方針が示されたが、JR飯田線との接続をはじめ二次交通の整備をどう考えていくか</p> <p>③ 交流重心内における民間投資の促進をどう図っていくか</p> <p>(2) 「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」「大学のあるまちづくり」の考え方は</p> <p>(3) 中心市街地における「賑わいのあるまちづくり」の考え方は</p> <p>(4) 人の流れを呼び込む地域資源の一つとして、アウトドアレジャーの魅力をどう認識するか</p> <p>3 産業振興と移住促進について</p> <p>(1) 産業団地の造成、計画が進む一方、労働人口の確保も課題だと考えられるが、どう対応していくか</p> <p>(2) 農地付き空き家を就農移住定住の魅力として打ち出していく考えはどうか</p> <p>4 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 避難所等の生活環境整備に向けてトイレ、キッチン、ベッドの充足に対する考えは</p> <p>(2) 消防団員の確保に向け、現役団員の負担軽減をどう取り組んでいくか</p> <p>5 福祉分野における人材の確保について</p> <p>(1) 保育所、高齢者福祉施設など人材の確保が継続的な課題となっているが、専門職以外の関わりをどう認識するか</p> <p>6 地域自治のあり方について</p> <p>(1) 担い手不足など各地区の状況変化が顕在化する中、市からの委託・依頼業務をどう考えていくか</p> <p>(2) 自主防災活動が高まる取り組みをどう考えていくか</p> <p>7 小中学校の運営について</p> <p>(1) 少子化時代における児童生徒の教育環境の充実に向けた取り組みをどう進めていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 田 倫 英 (会派きぼう)	<p>(2) 部活動の地域移行が注目されている中、中学生期におけるスポーツ・文化活動の基本的な考え方は</p> <p>(3) 不登校となる児童生徒の数が増加傾向にある中、民間団体との連携をどう考えていくか</p> <p>8 新文化会館の建設計画について</p> <p>(1) 候補地の選定をはじめ重要な時期に入っているが、数十年先を見据えた当地域にふさわしい文化会館のあり方は</p>
3	原 和 世 (会派みらい) 【 100 分 】	<p>1 市長の市政運営に関して</p> <p>(1) 新年度における、デジタル実装社会に向けた市政運営について</p> <p>① 国のデジタル田園都市国家構想のような戦略を立てデジタル化を進めるべきだと思うがどうか</p> <p>② 政策の有効性を確認するためのEBPMの手法に対する考えは ※EBPM:エビデンス、合理的根拠に基づき、より実効性の高い政策を立案すること</p> <p>2 令和5年度予算編成の基本方針に関して</p> <p>(1) 市長の政策公約と新年度予算編成の方針について</p> <p>① 市長就任2年を振り返り、政策公約をどのように総括したか。また、任期折り返しにあたる新しい年へどのように反映したか</p> <p>(2) 年度ごとの予算編成方針における基本的な考え方について</p> <p>① 示された予算編成の基本方針によると、重点的に財源を振り向けた結果として市民の暮らしにどう寄与していくか、どんなまちになっていくかが分かりにくいのでは</p> <p>(3) 令和4年度の時点評価と令和5年度予算編成の基本方針について</p> <p>① 新年度方針策定にあたりPDCAサイクルの考え方は生かされているか</p> <p>3 行財政運営に関して</p> <p>(1) 財政運営について</p> <p>① 昨年示された財政運営の10年間の見通しについて、年度ごとの進行管理を示してはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい)	<p>② 年度末剰余金の専決処分に関し、その内容を明確にして次年度当初に活用について議会側とも協議することは</p> <p>(2) 飯田市公共施設等総合管理計画について</p> <p>① 本計画期間は、平成28年度から令和7年度までだがこの後の展開をどうして行くのか</p> <p>② 現在策定されている個別計画の内、建設部・教育委員会が所管する施設計画の実施状況は</p> <p>③ 個別計画の進行管理が見えないことからPDCAのサイクルで年次報告することと、各部門を統合して一元管理していく考えは</p> <p>4 学校教育課題に関して</p> <p>(1) 学校のあり方検討の進め方について</p> <p>① 学校運営協議会での検討経過から</p> <p>ア 「特色ある学校づくり」と「学校の配置枠組み」の議論が混同していなかったか</p> <p>イ 教育委員会として学校区ごとに施設のあり方を示し、そこから議論をスタートさせてはどうか</p> <p>ウ 令和5年度に学校のあり方審議会(仮称)を設置するとのことだがこれまでの研究会との違いは</p> <p>エ これからの学校のあり方を考えていく上で、子どもたちを取り巻く環境の変化と教育について地域も参加した学習会を計画してはどうか</p> <p>(2) 学校運営について</p> <p>① ICT教育が始まり3年が経過するが、端末の保守・支援教員の拡充・ソフトの研究など、運用上の課題をどう捉えているか</p> <p>② 新年度はインクルーシブ教育への理解を推進とのことだが、運用していく上での課題と対応をどのように考えているか</p> <p>③ 新年度の「こどもまんなか社会」はどう進めるか</p> <p>④ 児童生徒の特質を掴み指導に繋げて行くために、学校ごと任意で行っているQ-U・CRTテストの有効性について検証してはどうか</p> <p>⑤ ペレットストーブの補助暖房としてエアコン使用は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい)	<p>5 市役所のデジタル化に関して</p> <p>(1) 市役所のデジタル化推進の取り組みについて</p> <p>① 地域内通貨導入に向けたデジタル化の実証実験としてプレミアム電子商品券の取り組みはどうだったか</p> <p>② マイナンバーカードを活用した市役所デジタル化推進の検討は</p> <p>6 当面する行政課題に関して</p> <p>(1) 新年度に方向付けを期待する課題について</p> <p>① 親子の居場所づくり・幅広い世代の交流の場・丘の上の回遊起点など、多くの可能性を含む飯田市立動物園を市民と共により付加価値を高めていくことは</p> <p>② テニスコートや総合運動場の照明・芝生グラウンドなど、以前から指摘されているスポーツ施設整備は</p>
4	小 林 真 一 (公明党) 【 120 分 】	<p>1 市政運営と財政状況(予算編成)について</p> <p>(1) 人口減少、少子高齢化に加え、長引くコロナ禍やウクライナ危機、物価・原油高といった「多重危機」の影響をどう考え来年度基本方針に反映したか</p> <p>(2) 「日本一住みたいまち」を目指して、厳しい社会状況の中で市長の現状の思いは</p> <p>(3) 「対話と現場主義」について、任期の折り返しとなる現状の振り返りと総括は</p> <p>① 職員との対話についての現状は</p> <p>(4) 人事の考え方と人材育成について</p> <p>① 自治振興センターの重要性をどう考えるか</p> <p>(5) SDGsの取り組みの評価は</p> <p>(6) 折り返しにあたり税収や地方交付税の影響を鑑みながら、事業の整理と、未来への投資はどう考えるか</p> <p>2 子どもを中心に据えた、子育てと教育について</p> <p>(1) 国は伴走型支援を今後進める方針だが、市として今までに取り組んできた伴走型支援の内容は</p> <p>(2) 市のICT教育についての教育長の思いは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 ( 公 明 党 )	<p>(3) 市の教育方針として読解力に力を入れていくとしているが、具体的な取り組みは</p> <p>(4) 地域におけるフリースクールの考え方とこれからについて</p> <p>3 多様性を認め、持続可能な地域を創るには</p> <p>(1) コロナ禍における多文化共生について</p> <p>① 現状と課題は</p> <p>② 外国人住民のワクチン接種の状況は</p> <p>(2) 先の未来を展望するという視点における環境文化都市の取り組みは評価すべきと捉えるが、一方で今までの取り組みや、現状、経過の検証は</p> <p>① ポイ捨て条例をはじめとして、市民意識の現状をどう捉えるか</p> <p>4 すべての人が幸せを実感できる地域について</p> <p>(1) コロナ禍における高齢者福祉・介護保険事業計画の現状と課題は</p> <p>① 在宅介護における課題は</p> <p>② 若年性認知症の取り組みの現状は</p> <p>③ エンディングサポートへの取り組みの考えは</p> <p>(2) 南信州の観光について</p> <p>① 多様性を踏まえたユニバーサルツーリズムの取り組みは</p> <p>(3) 地域内経済循環の取り組みについて</p> <p>① 第1次産業に着目した理由は</p> <p>② 地域通貨の研究はどの程度進んでいるか</p> <p>(4) 「女性が住みたいまち」について</p> <p>① ジェンダーギャップへの認識と解消へ向けての取り組みは</p> <p>5 社会的課題へ向けた社会基盤整備について</p> <p>(1) 飯田市立病院の機能と役割は</p> <p>① かかりつけ医との関係性は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 ( 公 明 党 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 安心して医療を受けるために、コロナ禍における現状をどう分析し今後につなげるか</li> <li>③ 患者や家族に寄り添う視点と、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンの取り組みの現状は</li> </ul> <p>(2) コロナ禍における避難所などの課題をどう考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災倉庫の現状は</li> </ul> <p>(3) DXの取り組みを市民生活に受け込ませるには</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① デジタル化の実装へ向けて市の現状と課題は</li> <li>② デジタル弱者への対応状況は</li> </ul> <p>(4) 持続可能な地域公共交通の在り方についての考え方は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学誘致を見据えて公共交通の在り方をどう考えるか</li> <li>② 高齢者の視点との連携はどう考えるか</li> <li>③ 新しいモビリティの検討についての現状は</li> </ul>